



第2期関西創生戦略の改訂について

令和2年8月27日
本 部 事 務 局

改訂趣旨

新型コロナウイルス感染症により、外出自粛の要請、飲食店等の営業自粛要請、海外との出入国制限などが行われ、経済や社会生活に非常に大きな影響を受けたが、今後は、感染リスクを可能な限り抑えつつ、社会経済活動の回復を本格的に図っていかねばならない。

このことから、今般、関西の社会経済活動等の元気回復を目指した「新型コロナウイルス感染症を踏まえた関西の元気回復に向けて」を取りまとめた。

この取組を踏まえ、関西広域連合では、第2期関西創生戦略を改訂し、新型コロナウイルス感染症からの関西の元気回復に向けて、構成府県市と一丸となって各施策に積極的に取り組んでいく。

記

改訂内容

| 改訂後 | 現行 |
|--|---|
| <p>基本的方向② 危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西の創造</p> <p>(1) 考え方</p> <p>① 大規模広域災害を想定した広域対応の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害（南海トラフ地震、首都直下地震等）の発生に備え、災害時相互応援協定を締結している九都県市、<u>中国、四国、九州</u>といった他の広域ブロックとの情報交換や、訓練への相互参加を通じ、具体的な応援・受援の手順・手法等について確認を行い、相互応援体制の強化を図る。 <p>(2) 具体的な施策</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症を踏まえた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>新型コロナウイルス感染症への対応の総括や、自然災害との複合災害への備えを踏まえて「関西防災・減災プラン（感染症対策編）」の見直しを実施する。また、関西防災・減災プラン」各編に避難所や広域応援等にかかる新型コロナウイルス感染症対策を追記する。</u> <u>新型コロナウイルス感染症を踏まえた広域応援訓練や緊急支援物資の輸送訓練等を実施する。</u> <u>感染を予防する生活様式の定着に取り組む事業者を応援するため、関西広域連合によるポスターテンプレートを各構成府県市で活用し、店舗等への提供を実施する。</u> | <p>基本的方向② 危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西の創造</p> <p>(1) 考え方</p> <p>① 大規模広域災害を想定した広域対応の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害（南海トラフ地震、首都直下地震等）の発生に備え、災害時相互応援協定を締結している九都県市、<u>九州、四国等の他の広域ブロック</u>との情報交換や、訓練への相互参加を通じ、具体的な応援・受援の手順・手法等について確認を行い、相互応援体制の強化を図る。 <p>(2) 具体的な施策</p> |

| 改訂後 | 現行 |
|---|---|
| <p>基本的方向③ 医療における安全・安心ネットワークが確立された関西の創造</p> <p>(2) 具体的な施策</p> <p>① ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実 内容：(略)</p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) ドクターヘリレジストリの参加基地病院数：<u>5 病院</u> (令和 2 年度) (削除)</p> <p>② 災害医療体制の強化 内容： ○ 大規模災害発災時における被災地において、DMAT 活動を中心とする「超急性期医療」から医療救護チーム等による診療支援など、「急性期から慢性期」への移行を円滑に進めるとともに、発災後、刻々と変化する被災地の状況を的確に把握し、被災地医療を統括・調整する「災害医療コーディネーター」について、構成団体との連携により計画的に養成する。 ○ 広域連合管内における「災害医療コーディネーター」の役割や、業務についての共通理解を深めるとともに、「顔の見える関係」を構築するための合同研修会を継続実施する。 ○ <u>新型コロナウイルスの克服に向けて、「医療資器材等の広域融通」や「検査の広域連携」、「広域的な患者受入体制の連携」について、広域医療連携を推進する。</u></p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制等の情報共有：毎月 (対策本部会議の終了まで)</u> (令和 2 年度)</p> | <p>基本的方向③ 医療における安全・安心ネットワークが確立された関西の創造</p> <p>(2) 具体的な施策</p> <p>① ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実 内容：(略)</p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) ドクターヘリ出動回数：<u>4,800 回</u> (令和 2 年度) ドクターヘリ基地病院交流・連絡会参加者数：<u>年 28 人以上</u></p> <p>② 災害医療体制の強化 内容： ○ 大規模災害発災時における被災地において、DMAT 活動を中心とする「超急性期医療」から医療救護チーム等による診療支援など、「急性期から慢性期」への移行を円滑に進めるとともに、発災後、刻々と変化する被災地の状況を的確に把握し、被災地医療を統括・調整する「災害医療コーディネーター」について、構成団体との連携により計画的に養成する。 ○ 広域連合管内における「災害医療コーディネーター」の役割や、業務についての共通理解を深めるとともに、「顔の見える関係」を構築するための合同研修会を継続実施する。 ○ <u>感染症対策について、府県市の連携を強化し、蔓延防止を図る。</u></p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) 災害医療コーディネーター合同研修会の参加者数：<u>年 50 人以上</u></p> |
| <p>基本的方向④ 国内外にわたる観光・文化・スポーツの交流拠点関西の創造</p> <p><観光振興></p> <p>(2) 具体的な施策</p> <p>① 地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業の推進 内容： ○ 関西エリアの周遊力・滞在力を向上させるため、民間事業者、広域連携 DMO・地域 DMO 等と連携して、外国人観光客等の受入環境整備や地域における人材活用等の事業を展開することにより、関西地域の魅力向上を促進する。</p> | <p>基本的方向④ 国内外にわたる観光・文化・スポーツの交流拠点関西の創造</p> <p><観光振興></p> <p>(2) 具体的な施策</p> <p>① 地域の魅力を活かす関西周遊環境整備事業の推進 内容： ○ 関西エリアの周遊力・滞在力を向上させるため、民間事業者、広域連携 DMO・地域 DMO 等と連携して、外国人観光客等の受入環境整備や地域における人材活用等、<u>将来的に自立的な運営が可能な事業を展開することにより</u>、関西地域の魅力向上を促進する。</p> |

| 改訂後 | 現行 |
|--|---|
| <p>○ <u>各地域において感染対策をしっかりと講じたうえで、まずは国内観光の需要喚起に取り組みながら、同時に、将来のインバウンド回復を見据えた取組を実施する。</u></p> <p><具体的な取組></p> <p>(1)～(3)略</p> <p><u>(4) 感染症を踏まえた情報発信</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>豊かな自然やアウトドアなど3密を避けても観光ができる観光地を紹介する動画を製作するとともに、各地域の観光に関する取組や宿泊施設等の情報をWEBやSNS等により発信する。</u> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>地域の魅力を伝える通訳案内士等の資質向上を図り、人材育成のためのスキルアップ研修の受講者数：年100人</u></p> <p>② 広域観光周遊ルート「美の伝説」等誘客促進事業の推進 内容：(略)</p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>広域周遊ルートの商品造成：年1商品</u></p> <p>③ 海外観光プロモーションの推進 内容：(略)</p> <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重点市場とする国・地域との関係強化 ・ セミナーや観光展等で、旅行者や一般消費者へPR ・ <u>将来のインバウンドの回復に向け、国や関西の経済界、関西エアポート等の関西インバウンド関係者と連携し、早い段階で日本への誘客が見込める国や地域をターゲットにした観光プロモーション等を行う。</u> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>官民連携による海外メディア招請及び情報発信、旅行博等への出展回数：年3回以上</u></p> <p>④ 広域連携 DMO「関西観光本部」との連携 内容： ○ 「KANSAI」を世界に売り込むプロモーションや「KANSAI ONE PASS」や「KANSAI Wi-Fi (Official)」等の観光基盤の一層の整備・拡充等について、関西観光本部と表裏一体となって取り組む。</p> | <p><具体的な取組></p> <p>(1)～(3)略</p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>関西の訪日外国人旅行者数：1,800万人 (令和2年まで) ※平成27年 約790万人</u></p> <p>② 広域観光周遊ルート「美の伝説」等誘客促進事業の推進 内容：(略)</p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>「美の伝説」ルート等旅行商品造成数(旅行者等による旅行商品造成数)：年3本</u></p> <p>③ 海外観光プロモーションの推進 内容：(略)</p> <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重点市場とする国・地域との関係強化 ・ セミナーや観光展等で、旅行者や一般消費者へPR <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>関西を紹介する海外トッププロモーションにおけるセミナー等への参加者数：年1,000人以上 (構成府県市単独プロモーションでの紹介を含む)</u></p> <p>④ 広域連携 DMO「関西観光本部」の体制確立・機能強化 内容： ○ <u>広域連携 DMOとしての「関西観光本部」の設立により、「KANSAI」を世界に売り込むプロモーションや「KANSAI ONE PASS」や「KANSAI Wi-Fi (Official)」等の観光基盤の一層の整備・拡充等について、関西観光本部と表裏一体となって取り組む。</u></p> |

| 改訂後 | 現行 |
|--|---|
| <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> リーディングプロジェクトの推進 広域観光周遊ルート「美の伝説」誘客事業、「KANSAI ONE PASS」、「KANSAI Wi-Fi (Official)」、「はなやか関西」のブランド発信等 <u>デジタルを中心とした観光プロモーションの展開や KANSAI ONE PASS 等による関西域内の周遊を促進する環境整備等を行う。</u> 広域連携 DMO として、関西の国際観光の企画・マーケティング機能を担う。 「KANSAI Wi-Fi (Official)」の認証連携事業の対象拡大 関西エリアの無料 Wi-Fi 拠点の拡大 <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>関西観光本部の掲載動画の視聴回数 (累計) : 11,000,000 回以上</u> <u>※令和元年度 : 10,260,940 回 (累計)</u></p> <p><文化振興> (2) 具体的な施策 ① 国際イベントの開催等を契機とした関西文化の魅力発信 内容 : ○ (略) ○ <u>関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぐ関西「文化の道」事業や国際的な事業の展開等により、関西文化の魅力</u>を国内外に発信する。</p> <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能、音楽、ポップカルチャー、祭り情報等、関西共通の文化の魅力を幅広く発信 伝統芸能をはじめ、現代的なものを含めた関西文化をアピールする<u>取組を実施</u> <u>文化施設が賑わいを取り戻せるよう、関西の文化施設のネットワークを活用し、誘客施策を実施</u> <u>関西の古典楽劇と舞台となった場所を結びつけて紹介する動画を制作し、多言語にて Web 配信</u> <u>情報通信基盤整備を踏まえ、大容量通信網を活用し、新たな生活様式に沿って、関西の文化の魅力を発信する動画の制作・配信等新しい活動機会を創出する取組を実施</u> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) 関西の芸術文化情報サイト年間アクセス数 : <u>53 万</u> ページビュー (令和 2 年度)</p> <p><スポーツ振興> (2) 具体的な施策</p> | <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> リーディングプロジェクトの推進 広域観光周遊ルート「美の伝説」誘客事業、「KANSAI ONE PASS」、「KANSAI Wi-Fi (Official)」、「はなやか関西」のブランド発信等 広域連携 DMO として、関西の国際観光の企画・マーケティング機能を担う。 「KANSAI Wi-Fi (Official)」の認証連携事業の対象拡大 関西エリアの無料 Wi-Fi 拠点の拡大 <p>(重要業績評価指標 (KPI)) <u>官民連携による海外旅行博への合同出展におけるブース来場者数 : 年 3 万人以上</u></p> <p><文化振興> (2) 具体的な施策 ① 国際イベントの開催等を契機とした関西文化の魅力発信 内容 : ○ (略) ○ <u>関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぐ関西「文化の道」事業や国際イベント開催の機会を捉えた文化フェスティバルの開催により、関西文化の魅力</u>を国内外に発信する。</p> <p><具体的な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能、音楽、ポップカルチャー、祭り情報等、関西共通の文化の魅力を幅広く発信 伝統芸能をはじめ、現代的なものを含めた関西文化をアピールする<u>フェスティバル等の開催</u> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) 関西の芸術文化情報サイト年間アクセス数 : <u>125 万</u> ページビュー (令和 2 年度)</p> <p><スポーツ振興> (2) 具体的な施策</p> |

| 改訂後 | 現行 |
|--|--|
| <p>③ 「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現 内容： ○ (略) <具体的な取組> ・ (略) ・ <u>ウォーキングを楽しく継続できるように、3密を避けるためウォーキングアプリ等を活用し、構成府県市等が作製しているウォーキングコースの利用やウォーキング等で活動した距離を競うクラウドイベントの開催等を検討し、ウォーキングをとおして運動習慣の促進や運動機会の確保、域内交流を図る取組を実施</u> ・ <u>「関西広域サイクリングルート」を活用し、ルートを整備充実させ、ルート上の地域振興事業との連携を推進（相互PR等）</u></p> | <p>③ 「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現 内容： ○ (略) <具体的な取組> ・ (略)</p> |
| <p>基本的方向⑤ 世界に開かれた経済拠点関西の創造 <産業振興> (2) 具体的な施策 ⑤ 地域魅力の発信・マーケットの拡大支援 内容： ○ 関西が有する資源の産業化を推進するため、デザインや実用性に優れた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信する。 ○ <u>海外プロモーションについては、渡航制限等を勘案し、ネットワークや拠点等を有する現地事業者と連携して実施する。</u></p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) 国内の産業プロモーションにおけるブース来場者数：8,200人以上 ※開催期間：4週間想定</p> | <p>基本的方向⑤ 世界に開かれた経済拠点関西の創造 <産業振興> (2) 具体的な施策 ⑤ 地域魅力の発信・マーケットの拡大支援 内容：(略) ○ 関西が有する資源の産業化を推進するため、デザインや実用性に優れた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信する。</p> <p>(重要業績評価指標 (KPI)) 国内の産業プロモーションにおけるブース来場者数：2,800人以上</p> |
| <p><農林水産業振興> (2) 具体的な施策 ① 地産地消運動の推進による域内消費拡大 内容： ○ 企業の社員食堂や学校給食でのエリア内産農林水産物の利用、直売所間の交流等を促進する。また、2021食博覧会・大阪でのPRを実施する。 <具体的な取組> ・ 「おいしい！KANSAI 応援企業」の登録推進、学校への特産農林水産物利用促進、直売所の交流促進 ・ <u>コロナ禍支援として、売上減の品目について、学校給食への相互提供や社員食堂での販促イベントの実施促進</u></p> | <p><農林水産業振興> (2) 具体的な施策 ① 地産地消運動の推進による域内消費拡大 内容： ○ 企業の社員食堂や学校給食でのエリア内産農林水産物の利用、直売所間の交流等を促進する。また、2021食博覧会・大阪でのPRを実施する。 <具体的な取組> ・ 「おいしい！KANSAI 応援企業」の登録推進、学校への特産農林水産物利用促進、直売所の交流促進</p> |

| 改訂後 | 現行 |
|--|---|
| <p>・ 2021 食博覧会・大阪でのキャンペーン実施 <産学官連携によるイノベーションの推進> (2) 具体的な施策 ① 関西健康・医療創生会議によるイノベーション創出・推進の検討 内容： <u>○ 「関西健康・医療創生会議」において、新型コロナウイルスの今後の感染拡大を見据え、これまでの感染症対策の検証と今後の対応の検討、啓発を行う。</u> ○ 「関西健康・医療創生会議」において、中間提言を踏まえた健康・医療情報の連携基盤の構築・利活用や人材育成の取組みの具体的方策を検討し、先進事例等の普及啓発に努めるとともに、在関西の主要大学と産業界の連携によるヘルスケアデータサイエンティストの育成等の取組みを推進する。 ○ 関西の主要大学と連携し、産業界や自治体からの人材受け入れの総合窓口として医療データ人材の育成推進を図る。 <具体的な取組> ・ <u>新型コロナウイルス感染症対策の検証や今後の対応を検討するシンポジウムや健康・医療データの収集・連携・利活用にかかる産業界や自治体関係者を対象とした先進事例セミナーの開催（年2回、300人程度）</u> ・ 産業界等向け医療データ人材育成コースの開設・推進（2コース） （重要業績評価指標（KPI）） <u>新型コロナウイルス感染症対策の検証や今後の防止策を検討するシンポジウム及び健康・医療データの収集・連携・利活用の推進にかかるセミナー等参加者数：年 600人以上</u></p> | <p>・ 2021 食博覧会・大阪でのキャンペーン実施 <産学官連携によるイノベーションの推進> (2) 具体的な施策 ① 関西健康・医療創生会議によるイノベーション創出・推進の検討 内容： ○ 「関西健康・医療創生会議」において、中間提言を踏まえた健康・医療情報の連携基盤の構築・利活用や人材育成の取組みの具体的方策を検討し、先進事例等の普及啓発に努めるとともに、在関西の主要大学と産業界の連携によるヘルスケアデータサイエンティストの育成等の取組みを推進する。 ○ 関西の主要大学と連携し、産業界や自治体からの人材受け入れの総合窓口として医療データ人材の育成推進を図る。 <具体的な取組> ・ 健康・医療データの収集・連携・利活用にかかる産業界や自治体関係者を対象とした先進事例セミナーの開催（年2回、50人程度） ・ 産業界等向け医療データ人材育成コースの開設・推進（2コース） （重要業績評価指標（KPI）） 健康・医療データの収集・連携・利活用の推進にかかるセミナー等参加者数：年 100人以上</p> |
| <p>基本的方向⑥ 地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西の創造 <環境保全> (2) 具体的な施策 ② 関西地域カワウ広域管理計画の推進 内容： ○ 関西各地で被害を及ぼしているカワウについて、「関西地域カワウ広域管理計画（第3次）」に基づき、カワウの生息動向や被害防除に関する調査及び情報の取りまとめを実施しながら、検証事業の成果を広く共有し、地域毎の被害対策に取り組める体制整備につなげる。</p> | <p>基本的方向⑥ 地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西の創造 <環境保全> (2) 具体的な施策 ② 関西地域カワウ広域管理計画の推進 内容： ○ 関西各地で被害を及ぼしているカワウについて、「関西地域カワウ広域管理計画（第2次）」に基づき、カワウの生息動向や被害防除に関する調査及び情報の取りまとめを実施しながら、検証事業の成果を広く共有し、地域毎の被害対策に取り組める体制整備につなげる。</p> |

| 改訂後 | 現行 |
|--|--|
| <p>⑤ 幼児期環境学習の推進 内容： ○ 幼児期の気づきや感動を大切に<u>した環境学習の効果及びその理論や実施方法等について理解を広め、幼児期の環境学習の指導者を育成するための研修会を3密の回避など感染防止対策に配慮しながら実施する。</u></p> <p>⑥ 地域特性を活かした交流型環境学習の推進 内容： ○ 滋賀県事業の「うみのこ」体験航海を活用し、<u>関西広域連合の圏域において、地域の環境課題等について相互に理解するための環境学習を、感染防止対策に配慮しながら実施する。</u></p> <p><プラスチック対策の推進> (2) 具体的な施策 ① プラスチック対策の推進 内容： ○ <u>プラスチック対策の総合的な取組について、新型コロナウイルス感染症による社会変化の影響等を考慮して推進する。</u></p> <p>基本的方向⑦ 人・モノ・情報が集積する基盤を有する世界のネットワーク拠点関西の創造 (2) 具体的な施策 ①～⑤ (略) ⑥ デジタル化の推進 内容： ○ <u>デジタル化に不可欠な5Gサービス等の情報通信基盤の整備等、国に対して提案するとともに、構成団体における取組や先進事例等の情報共有を図りながら、関西全体のデジタル化の推進について検討を進めていく。</u></p> | <p>⑤ 幼児期環境学習の推進 内容： ○ 幼児期の気づきや感動を大切に<u>した環境学習の効果及びその理論や実施方法等について理解を広め、幼児期の環境学習の指導者を育成するための研修会を実施する。</u></p> <p>⑥ 地域特性を活かした交流型環境学習の推進 内容： ○ 滋賀県事業の「うみのこ」体験航海を活用し、<u>関西広域連合の圏域において、地域の環境課題等について相互に理解するための環境学習を実施する。</u></p> <p><プラスチック対策の推進> (2) 具体的な施策 ① プラスチック対策の推進 内容： ○ <u>プラスチック対策の総合的な取組を推進する。</u></p> <p>基本的方向⑦ 人・モノ・情報が集積する基盤を有する世界のネットワーク拠点関西の創造 (2) 具体的な施策 ①～⑤ (略)</p> |

